

C Channel

2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 C Channel株式会社 上場取引所 東
コード番号 7691 URL https://corp.cchan.tv/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森川 亮
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 丹羽 歩 TEL 03 (6453) 6893
定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 -
発行者情報提出予定日 2026年6月29日
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	2,244	12.7	45	-	30	-	31	△58.8
2025年3月期	1,991	△65.5	△64	-	△92	-	76	-

(注) 包括利益 2026年3月期 30百万円 (△62.3%) 2025年3月期 80百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	1.08	-	9.4	2.8	2.0
2025年3月期	2.65	2.61	83.3	△6.1	△3.2

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 -百万円 2025年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	1,322	534	40.2	17.11
2025年3月期	888	136	14.8	4.58

(参考) 自己資本 2026年3月期 531百万円 2025年3月期 131百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	△77	△42	403	550
2025年3月期	△131	60	△113	261

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2026年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2027年3月期(予想)	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 現時点において、2027年3月期の配当金は未定です。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,687	19.7	56	24.2	50	63.1	47	51.8	1.53

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	31,078,600株	2025年3月期	28,722,000株
2026年3月期	－株	2025年3月期	－株
2026年3月期	28,889,867株	2025年3月期	28,722,000株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、物価上昇の継続や中国経済の先行き懸念やウクライナ・中東等の地政学的リスク、米国関税の政策運営等、わが国経済を取り巻く世界情勢は依然として予断を許さない状況となっております。

また、当社グループが所属しておりますインターネット広告市場は、前年比110.8%の4兆459億円（株式会社電通「2025年 日本の広告費」）となり、継続的に成長を続けております。

このような経営環境のもと、当社グループは「誰もが自分らしく輝ける機会を創る」というビジョンのもと「インフルエンサー事業」及び「海外事業」の2つの基幹事業の成長継続、収益構造の改善などに取り組んでまいりました。その中で、既存サービスに加え、企業とインフルエンサーを結びつける「Lemon Square」のサービス展開を拡大させることで、さらなる成長に注力してまいりました。

当連結会計年度における連結業績につきましては、売上高は2,244,740千円（前年同期比12.7%増）、営業利益は45,604千円（前年同期は営業損失64,604千円）、親会社株主に帰属する当期純利益は31,337千円（前年同期比58.8%減）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

なお、当社グループの報告セグメントは、従来「メディア事業」としていた報告セグメントの名称を「インフルエンサー事業」に変更しております。当該変更は報告セグメント名称の変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

（インフルエンサー事業）

インフルエンサー事業は、化粧品業界などの広告出稿が活発化しております。そのような環境下でメディアサービスを縮小し、インフルエンサーマーケティングサービスへの事業集中の意思決定をいたしました。その結果、当社が強化しているインフルエンサーマーケティングソリューション「Lemon Square」関連の売上が成長し、前年同期比34.1%増加となりました。特に強化している韓国と中国のクライアントの売上は前年同期比23.5%増加となりました。また新規事業としてTikTokShopの事業をスタートいたしました。美容業界で人気ブランドを多数輩出しているRainmakers社と協力し、CChannelのインフルエンサーネットワークをライブコマース領域でも活かしてまいります。既に多くの販売実績が出ており、販売金額も順調に伸びております。

この結果、外部顧客への売上高は1,555,982千円（前年同期比7.3%増）、セグメント利益は390,286千円（前年同期比24.5%増）となりました。

（海外事業）

海外事業は、中国においては越境EC及びSNSマーケティングの運営の強化に取り組んだ結果、越境ECの販売が好調に推移し売上は増加したものの、人件費の増加等の影響により、利益は伸び悩みました。また、インドネシアはインフルエンサー広告の更なる拡大に取り組んだ結果、売上・利益ともに増加となりました。

この結果、海外事業の外部顧客への売上高は688,757千円（前年同期比27.2%増）、セグメント損失は22,807千円（前年同期はセグメント損失22,392千円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は1,165,419千円で、前連結会計年度末に比べ433,405千円増加しております。主な変動要因は、現金及び預金288,852千円の増加、売掛金175,036千円の増加などであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は156,691千円で、前連結会計年度末に比べ494千円増加しております。主な変動要因は、ソフトウェア2,206千円の増加、投資その他の資産のその他687千円の増加、建物及び構築物(純額)2,492千円の減少などであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は429,332千円で、前連結会計年度末に比べ103,391千円減少しております。主な変動要因は、1年内返済予定の長期借入金233,704千円の減少、短期借入金85,911千円の増加、1年内償還予定の社債44,900千円の増加などであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は358,484千円で、前連結会計年度末に比べ139,495千円増加しております。主な変動要因は、長期借入金200,708千円の増加、社債60,900千円の減少などであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は534,294千円で、前連結会計年度末に比べ397,795千円増加しております。主な変動要因は、資本剰余金369,986千円の増加、利益剰余金31,337千円の増加などであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ288,852千円増加し、550,452千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは77,488千円の資金の支出(前連結会計年度は131,579千円の支出)となりました。これは主に売上債権の増加額170,572千円、税金等調整前当期純利益33,413千円、減価償却費39,127千円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは42,886千円の資金の支出(前連結会計年度は60,822千円の収入)となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出40,638千円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは403,691千円の資金の収入(前連結会計年度は113,270千円の支出)となりました。これは主に長期借入れによる収入300,000千円、株式の発行による収入366,775千円、長期借入金の返済による支出332,996千円などによるものであります。

(4) 今後の見通し

次期につきましては、不安定な国際情勢に起因する物価高騰の長期化やアメリカの政策動向など、景気の先行きが不透明な状況が続く中、見通しを立てることは困難な状況にあると考えております。

このような経営環境の中、当社グループは「誰もが自分らしく輝ける機会を創る」というビジョンのもと「インフルエンサー事業」及び「海外事業」の2つの基幹事業の確立のため、売上の維持・拡大、経費削減を進め収益力の改善に努めてまいります。特にインフルエンサー事業のインフルエンサー領域においては、クライアントの皆様にとってインフルエンサーマーケティングのソリューションとなる「Lemon Square」を中核事業に据え、インフルエンサー事業の強化など、新たな時代におけるトッププラットフォームを目指して更なる成長・拡大を進めてまいります。またインフルエンサーの投稿素材を美容室やECサイトで活用し売上を上げるSaaSサービスLemonBeautyの成長・拡大を進めることにより、LemonSquareサービス全体の収益増加を目指してまいります。

通期連結業績予想につきましては、売上高は2,687百万円(前年同期比19.7%増)、営業利益は56百万円(前年同期比24.2%増)、経常利益は50百万円(前年同期比63.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は47百万円(前年同期比51.8%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、現状は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、検討を進めていく方針であります。現時点においては未定であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	261,600	550,452
売掛金	318,096	493,133
商品及び製品	74,274	59,896
仕掛品	1,714	11,013
貯蔵品	34	25
その他	80,140	50,997
貸倒引当金	△3,846	△99
流動資産合計	732,013	1,165,419
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	30,758	28,266
工具、器具及び備品(純額)	1,056	1,148
有形固定資産合計	31,814	29,414
無形固定資産		
ソフトウェア	104,432	106,639
無形固定資産合計	104,432	106,639
投資その他の資産		
その他	39,419	40,106
貸倒引当金	△19,469	△19,469
投資その他の資産合計	19,949	20,637
固定資産合計	156,196	156,691
資産合計	888,210	1,322,110

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	103,574	89,222
短期借入金	—	85,911
1年内返済予定の長期借入金	312,676	78,972
1年内償還予定の社債	5,000	49,900
未払金	72,186	55,850
未払法人税等	903	635
その他	38,383	68,840
流動負債合計	532,723	429,332
固定負債		
社債	67,900	7,000
長期借入金	127,324	328,032
資産除去債務	18,527	18,639
繰延税金負債	5,237	4,812
固定負債合計	218,988	358,484
負債合計	751,712	787,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	1,802,851	2,172,837
利益剰余金	△1,677,484	△1,646,146
株主資本合計	135,367	536,691
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,868	△4,897
その他の包括利益累計額合計	△3,868	△4,897
新株予約権	5,000	2,500
純資産合計	136,498	534,294
負債純資産合計	888,210	1,322,110

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,991,343	2,244,740
売上原価	943,367	1,070,001
売上総利益	1,047,975	1,174,738
販売費及び一般管理費	1,112,579	1,129,133
営業利益又は営業損失(△)	△64,604	45,604
営業外収益		
受取利息	280	528
受取配当金	2	2
為替差益	—	4,762
業務受託料	200	—
その他	1,748	269
営業外収益合計	2,230	5,561
営業外費用		
支払利息	7,852	14,372
為替差損	15,423	—
支払手数料	2,894	4,132
その他	3,973	1,748
営業外費用合計	30,143	20,253
経常利益又は経常損失(△)	△92,516	30,913
特別利益		
新株予約権戻入益	3,750	2,500
関係会社株式売却益	167,862	—
特別利益合計	171,612	2,500
税金等調整前当期純利益	79,095	33,413
法人税、住民税及び事業税	3,326	2,499
法人税等調整額	△285	△424
法人税等合計	3,040	2,075
当期純利益	76,055	31,337
親会社株主に帰属する当期純利益	76,055	31,337

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	76,055	31,337
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	4,317	△1,028
その他の包括利益合計	4,317	△1,028
包括利益	80,372	30,309
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	80,372	30,309

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	10,000	1,802,851	△1,753,539	59,312
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	76,055	76,055
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	76,055	76,055
当期末残高	10,000	1,802,851	△1,677,484	135,367

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△8,186	△8,186	8,750	45,964	105,840
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	76,055
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4,317	4,317	△3,750	△45,964	△45,397
当期変動額合計	4,317	4,317	△3,750	△45,964	30,657
当期末残高	△3,868	△3,868	5,000	—	136,498

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	10,000	1,802,851	△1,677,484	135,367
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	31,337	31,337
新株の発行	184,993	184,993	—	369,986
資本金から資本剰余金への振替	△184,993	184,993	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—
当期変動額合計	—	369,986	31,337	401,323
当期末残高	10,000	2,172,837	△1,646,146	536,691

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△3,868	△3,868	5,000	136,498
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	31,337
新株の発行	—	—	—	369,986
資本金から資本剰余金への振替	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,028	△1,028	△2,500	△3,528
当期変動額合計	△1,028	△1,028	△2,500	397,795
当期末残高	△4,897	△4,897	2,500	534,294

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	79,095	33,413
減価償却費	30,191	39,127
関係会社株式売却益	△167,862	—
新株予約権戻入益	△3,750	△2,500
業務受託料	△200	—
支払手数料	2,894	4,132
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	19,578	△3,747
受取利息及び受取配当金	△282	△530
支払利息	7,852	14,372
売上債権の増減額 (△は増加)	△46,628	△170,572
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,827	5,087
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,637	△14,351
その他	△36,534	34,273
小計	△121,455	△61,293
利息及び配当金の受取額	282	530
利息の支払額	△7,311	△14,267
業務受託料の収入額	200	—
法人税等の支払額	△3,294	△2,457
営業活動によるキャッシュ・フロー	△131,579	△77,488
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△474	△699
無形固定資産の取得による支出	△44,463	△40,638
長期前払費用の取得による支出	—	△1,691
関係会社株式の売却による収入	108,506	—
貸付による支出	△3,494	△3,124
貸付金の回収による収入	750	3,268
投資活動によるキャッシュ・フロー	60,822	△42,886
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	85,911
長期借入れによる収入	100,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△236,800	△332,996
社債の発行による収入	27,030	—
社債の償還による支出	△3,500	△16,000
株式の発行による収入	—	366,775
財務活動によるキャッシュ・フロー	△113,270	403,691
現金及び現金同等物に係る換算価額	△1,166	5,535
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△185,193	288,852
現金及び現金同等物の期首残高	446,793	261,600
現金及び現金同等物の期末残高	261,600	550,452

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

当社は、2026年3月6日を払込期日とする第三者割当増資により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ184,993千円増加しております。

また、2026年3月6日付で減資を行っており、資本金が184,993千円減少し、資本剰余金が184,993千円増加しております。

この結果、当連結会計年度末において資本金が10,000千円、資本剰余金が2,172,837千円となっております。

(セグメント情報)

1. セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業活動の特徴、法的規制等を考慮した経営管理上の区分によって、「インフルエンサー事業」及び「海外事業」の2つを報告セグメントとしております。

「インフルエンサー事業」は、国内において企業向けに動画の企画・制作・配信を行うサービス等を主な業務としております。「海外事業」は、アジアを中心に『C CHANNEL』事業の海外展開を主な業務としております。

(2) 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

(3) 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	インフルエンサー事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,450,020	541,323	1,991,343	—	1,991,343
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	104,813	104,813	△104,813	—
計	1,450,020	646,136	2,096,156	△104,813	1,991,343
セグメント利益又は損失 (△)	313,418	△22,392	291,025	△355,629	△64,604
その他の項目					
減価償却費	27,176	488	27,664	2,526	30,191

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△355,629千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

その他の項目の減価償却費の調整額は全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. セグメント資産及び負債は、最高意思決定機関が経営の意思決定上当該情報を各セグメントに配分していないため記載は省略しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	インフルエンサー事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,555,982	688,757	2,244,740	—	2,244,740
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	38,350	38,350	△38,350	—
計	1,555,982	727,107	2,283,090	△38,350	2,244,740
セグメント利益又は損失(△)	390,286	△22,807	367,478	△321,874	45,604
その他の項目					
減価償却費	35,974	658	36,632	2,494	39,127

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△321,874千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の項目の減価償却費の調整額は全社費用であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産及び負債は、最高意思決定機関が経営の意思決定上当該情報を各セグメントに配分していないため記載は省略しております。

(4) 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメント名称の変更)

当連結会計年度より、「メディア事業」としていた報告セグメント名称を「インフルエンサー事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前連結会計年度のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	4円58銭	17円11銭
1株当たり当期純利益	2円65銭	1円08銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	2円61銭	—

(注) 1 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益を記載しておりません。

1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	76,055	31,337
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	76,055	31,337
期中平均株式数(株)	28,722,000	28,889,867
(うち普通株式数(株))	(28,722,000)	(28,889,867)
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株式に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	454,000	—
(うち新株予約権(株))	(454,000)	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	第4回・第5回・第6回・第7回・第9回・第10回・第11回新株予約権については、当連結会計年度においては希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	136,498	534,294
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	5,000	2,500
(うち新株予約権(千円))	(5,000)	(2,500)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	131,498	531,794
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	28,722,000	31,078,600

(重要な後発事象)

該当事項はありません。